

令和 4 年度  
特別養護老人ホーム 亀天荘  
指定短期入所生活介護事業所 亀天荘  
事業報告書



(1) 理念・基本方針

(運営理念)

亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように

(運営方針)

- ① ご利用者とそのご家族を支えるために、ご利用者ごとの最善のケアを多職種共同で考え、医療との連携も図りながらチームケアを行います。
- ② 働きやすい環境を整え、職員一人一人が目標意識を持って仕事ができる体制を作ります。
- ③ 法人内外の事業所との連携を密に図り、稼働率を維持することで安定した運営ができるようにします。

(重点目標)

- ① ご利用者の体調面については些細な変化も看護師に報告、共有することで処置や受診といった必要な対応がとれるような体制を整えることで、ご利用者の体調管理に努めました。また、多職種が参加するケアカンファレンスを毎月開催し、ご利用者の状態について共有し、専門職それぞれの視点から意見を出し合うことでご利用者に合ったケア計画を作成しました。ご利用者の状態が変わった時にはケア計画の見直しを行い、最適なケアができるようにしました。ご家族にもご利用者の状態の変化をお伝えし、対応方法が変わった場合には都度説明し了承をいただくことで安心してご利用いただける体制を整えました。
- ② 業務についてはご利用者の状態や職員の体制に応じて、見直しを行いました。一人一人の役割の明確化と業務におけるルールの制定について問題が生じた場合は改善していきます。情報共有については職種内、職種間で口頭やノートを使用した申し送り、必要時には臨時のミーティングを行うことで情報を共有できるようにしました。またチームで協力して業務にあたるために、役職者が中心となって職員間のコミュニケーションの円滑化を図りました。職員の悩みや不満についてもすぐに話を聞くようにし、都度解決することで働きやすい環境作りに努めました。

- ③ 当年度の稼働率平均は 97.3%でした。待機者については特養入所を希望された方にはショートステイを利用させていただくことで、亀天荘のことを知っていただき、入所が決まった際にスムーズに受け入れできる体制を整えました。入所申込の段階で法人内の他の事業所の紹介も行うことで軽度の方であってもご利用できるサービスにつなげるように努めました。また、ご利用者の状態に応じて転倒、転落といった事故防止の対策をとることで骨折による入院の予防に努めました。当年度骨折による入院は1件となっています。体調に異常が生じた際にも早い段階で適切な処置や医療につなぐことにより、長期の入院の予防に努めました。
- ④ 地域の方々との関わりを増やす取り組みを計画していましたが、コロナ禍のため中止となりました。亀天荘は福祉避難所に指定されていることもあり、災害時の協力体制がとれるよう、来年度は災害時の避難訓練に地域の方も参加していただくことを計画しています。ご家族との関わりにおいては、感染症の予防をしながらできる限りの対応を行いました。面会についてもオンラインや窓越しでの対応を行い、感染状況が落ち着いた期間には対面での面会も実施することで、ご利用者のご家族が関わるできるよう努めました。
- ⑤ 毎月勉強会を開催し、座学やグループワーク、実践練習など内容に応じた形式で行いました。一方的にならないよう受ける側も参加できるようにして、必要な知識や技術を得られるようにしました。外部研修についてはコロナ禍で参加が難しくなりましたが、オンラインの活用により、できる限り参加できるようにしました。介護福祉士や介護支援専門員の受験資格がある職員に対しては受験を促し、より専門性を高めることができるように働きかけを行いました。
- ⑥ 各種委員会
- 身体的拘束  
行動の抑制を防止し、適切な対応をとることで身体拘束ゼロを実施しました。認知症により同じ訴えを何回も繰り返したり、怪我につながるような危険な行為がみられるご利用者について、具体的な対応策を考えることで、ご利用者と職員双方にとって適切なケアを提供できるようにしました。

- 事故防止  
安全対策担当者が中心となり、事故防止のための取り組みを行いました。事故やヒヤリハット事項が発生した場合には報告書を作成してミーティングを行い、再発防止策を検討しました。重大な事故については勉強会で取り上げ、事故の原因や再発防止策について職員全員で共有しました。委員会では事故とヒヤリハットの統計を取り、どのような事故の種類別の件数の増減を分析したり、再発防止策が有効であったかの検証を行いました。
- 虐待防止  
ご利用者の心身状況を把握し、適切な対応をとることで虐待ゼロを実施しました。虐待につながる可能性のある不適切なケアの防止に重点を置き、対応が難しいご利用者のモニタリングを行うことで実践的な虐待防止策を検討しました。勉強会では虐待の定義や職員自身の心のコントロールについても学びました。認知症や精神症状により対応が難しくなったご利用者についてはまず施設でできる対応方法を検討し、それでも難しい場合はご家族や主治医にも相談し必要な対応をとることで、ご利用者と職員双方を守る取り組みを行っています。
- 感染症対策  
委員会が中心となり、基本的な感染症予防と衛生管理の体制を整えました。勉強会においては新型コロナウイルスの感染発生時のシミュレーションを実施し、ガウンテクニックや排泄対応について学びました。12月に施設内で新型コロナウイルスの感染が発生し、完全収束まで約1か月を要しました。これについては職員全体で振り返りを行い、特にゾーニング等の初動対策を見直すことで発生した際に早期の収束ができるようにしています。
- 褥瘡防止  
褥瘡があるご利用者と褥瘡のハイリスク者の対応について多職種で検討を行いました。栄養状態やADL、ベッドマット、クッションの使用など多角的に検討し、その方に合ったケア方法を考えています。主治医にも相談し、適切な処置をとることで褥瘡や皮膚状態の改善が見られています。入所者全員の褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書を作成し、定期的に評価を行い、データを提出することで褥瘡マネジメント加算を算定しています。

## (2) 利用者に対するサービス

### ● 食事

季節を感じていただけるような料理や地域色豊かなメニューを取り入れ、食事が楽しくなるような献立作りをしています。毎月開催している給食委員会では厨房職員と施設職員で意見交換を行い、よりよい食事作りに取り組んでいます。6種類の食事形態を準備しており、ご利用者の咀嚼や嚥下状態にあった形態でお出しすることにより、おいしく安全な食事の時間を提供しています。

### ● 入浴

普通浴槽、座ったままで入浴できるチェア浴、寝たまま入浴できるストレッチャー浴という充実した設備を活かし、軽度から重度の方までご利用者のADLに応じた方法で入浴していただける体制を整えています。入浴前には健康状態を確認して入浴可能か判断し、安全に入浴していただけるようにしています。体調によっては清拭対応するなど清潔保持に努めています。

### ● 排泄

ご利用者の日常生活動作を把握し、身体状況に合った排泄ケアを実施しています。ご利用者の残存機能を活かしながら負担なく安全に排泄ができるよう複数名で介助を行うなど、プライバシーにも配慮しながら、ご利用者お一人お一人に応じたケアができるようにしています。また尿や便の観察を行い、異常の早期発見に努めています。

### ● 機能訓練

機能訓練指導員がご利用者の身体機能について評価しています。ケアカンファレンスで評価と対応の検討を行い、計画書を作成し機能訓練を実施しています。ご利用者のADLの変化に応じて計画を見直し、身体の状態にあった対応方法を検討、実施することでご利用者の身体機能の維持に努めています。ご家族にも状態の変化や対応方法の変更の際には報告を行うことでADLについて把握していただけるようにしています。

- **健康管理**  
 看護師が中心となり、毎日のバイタルチェック、食事・水分摂取量の把握、尿量の把握など健康観察を行うことで体調管理を行いました。ご利用者の状態変化については、すぐに看護師に報告し、ご家族にもお伝えして必要時には速やかに医療機関につないでいます。病院受診の際には施設での健康状態についてご家族に説明するとともに、バイタルのデータや具体的な症状について文書を作成、医療機関に提出していただくことで、主治医にご利用者の状態が正確に伝わるようにしています。24時間オンコール体制をしいており、夜間の急変時にもすぐに必要な対応がとれるようにしています。
  
- **相談・援助**  
 入所前のアセスメントによりご利用者の状態を把握し、多職種で適切なケア方法を検討しご家族にも説明しています。入所してからもこまめに報告を行い、対応方法の変更や必要となる福祉用具、褥瘡予防のための特殊なマットなどについてご家族に説明し、了承を得ています。医療的な処置が必要となり、施設での対応が難しくなったご利用者については早い段階からご家族に説明し、心の準備をしていただくことでスムーズに入院等の対応ができるようにしています。
  
- **行事**  
 感染予防のため、外出行事の実施はできませんでしたが、施設の中でも季節を感じていただけるような行事を企画しました。夏には中庭で職員の家族も参加しての花火大会を実施したり、敬老会では職員が歌や踊りを披露するなど、楽しんでいただける行事を実施しました。また毎月誕生日会を開催して職員とご利用者みんなで誕生日の方のお祝いをしました。
  
- **ボランティアの受け入れ・地域行事参加状況**  
 新型コロナウイルス感染予防のため、地域行事の参加やボランティアの受け入れは中止しました。
  
- **防火・防災・防犯対策**  
 職員全体で勉強会を行うとともに消防署立会の防火訓練のほか、地震避難訓練、風水害の避難訓練、防犯訓練を実施しました。また防火設備や日用品、食料品等の備蓄の確認を定期的に行っています。

### (3) その他の重要な取り組み

#### ① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

BCPに基づき、平常時の感染予防対策、発生時の感染対策を整えていましたが、12月に職員、ご利用者がコロナウイルスに罹患し、収束まで約1か月を要しました。この経験を踏まえ、発生の予防に努めるとともに発生時の初動対策を見直し、早期の収束ができるようBCPの見直しを行いました。

#### ② ハラスメント対策

各種ハラスメントについての勉強会を行い、職員全体でどのような言動がハラスメントにあたるのかを理解し、防止策や発生時の報告体制についての確認を行いました。

#### ③ 地域における公益的な活動

社会福祉法人等による低所得者利用者負担軽減制度により、必要とされている方がサービスを利用していただけるとなりました。

#### ④ 介護職員等処遇改善加算への取り組み

##### ・資質の向上やキャリアアップに向けた支援

基本的な事項からより実践的な内容まで網羅した勉強会を開催し、職員全体の資質の向上を図っています。また法人のキャリアアップモデルに基づき、経験や能力に応じて必要な研修が受けられるようにしています。

##### ・労働環境、処遇改善

洗濯や掃除、シーツ交換といった直接介護以外の業務は生活支援係が担当することで、介護職員の負担軽減を図っています。

##### ・その他

子育てや介護等、職員の事情に応じた勤務シフトの作成をしています。また個別面談を行い、職員の悩みや不満を傾聴し早期の解決に努めました。



## 令和4年度（介護予防）短期入所生活介護事業所亀天荘

### （1）理念・基本方針

亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように

### （運営方針）

- ① 軽度の方から施設入所を待つ重度の方まで、安心して利用していただけるサービスを提供します。
- ② サービス利用中のご利用者の状態について、ご家族や居宅のケアマネージャーと情報を共有し、適切なケア方法の提供をすることで在宅生活の継続を支援します。
- ③ 法人内外の各事業所と連携し、地域福祉の拠点としてご利用者のサポートを行います。

### （重点目標）

- ① 当年度の稼働率は90.5%でした。特養併設の強みを活かし充実した設備と多種の専門職が関わることで、軽度の方から重度の方まで様々な状態のご利用者に対応できる体制を整えました。利用中のご利用者の状態について都度ご家族に報告し、体調の変化やケア方法の変更があった場合には説明、了承をいただくことで安心して利用いただけるようにしました。ショートステイをご利用いただくことで亀天荘を知っていただき、必要となった際には安心して特養も利用いただけるようなサービスの提供に努めました。
- ② 新型コロナウイルス感染予防のため、地域の方が参加できる行事や地域行事の参加、ボランティアの受け入れは中止となりました。相談に来られた方のお困りごとを確認し、法人内により適したサービスがあれば紹介するなど、地域福祉の相談窓口としての役割も果たすように努めました。

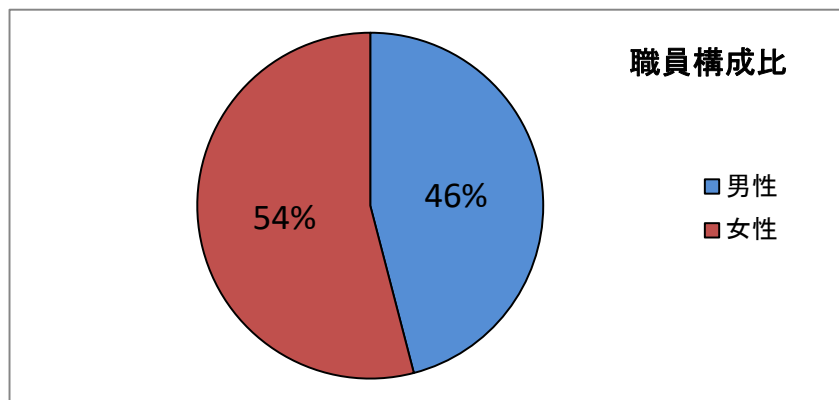


## 1. 事業所

### ① 概要

事業所名	特別養護老人ホーム 亀天荘			
事業所種別	特養・短期入所			
事業所住所	西条市大野190番地1			
管理者職名	施設長 山田 関俊			
職員数	男性	女性	総数	
	17	20	37	

(令和5年3月31日現在)



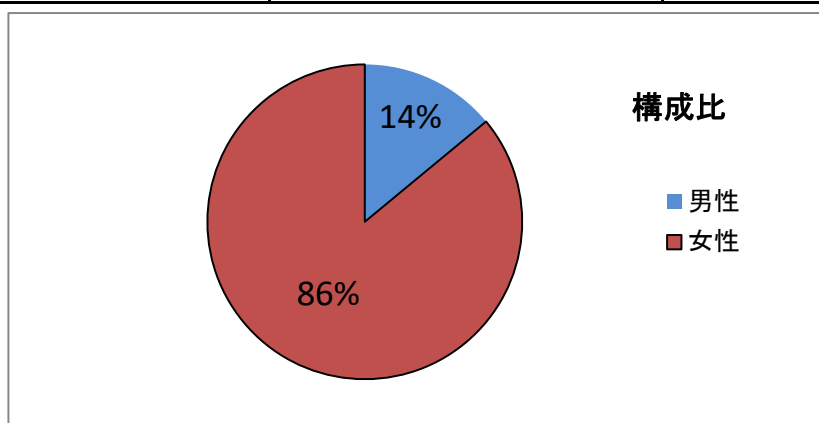
### ②職員紹介

特別養護老人ホーム亀天荘の職員は、施設長、生活相談員、管理栄養士、事務員、介護支援専門員、機能訓練指導員、介護職員、看護職員、医師(非常勤)で構成されています。また外国人技能実習生を3名受け入れています。

有資格者は介護支援専門員が1名、管理栄養士が1名、介護福祉士が12名、看護師が1名、准看護師が4名となっており、各職種の専門性を活かしながら、多職種協働によるサービスを提供しています。

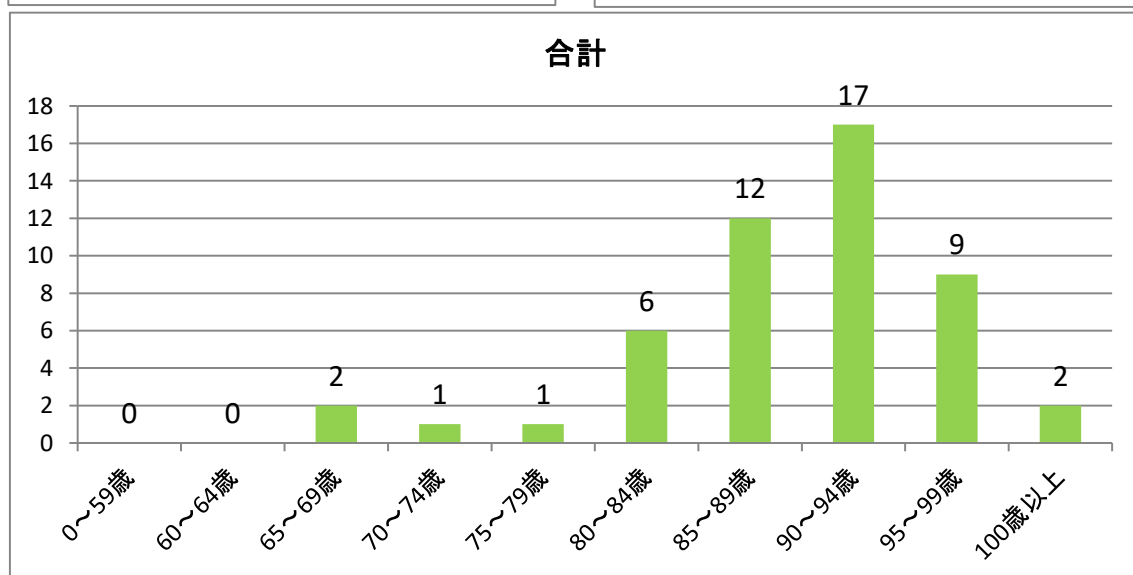
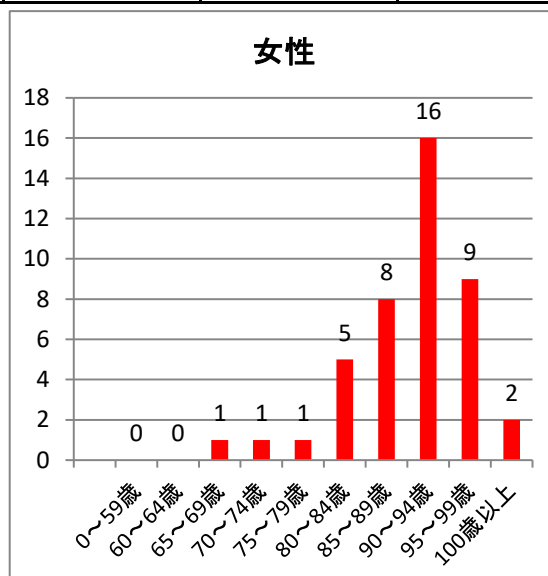
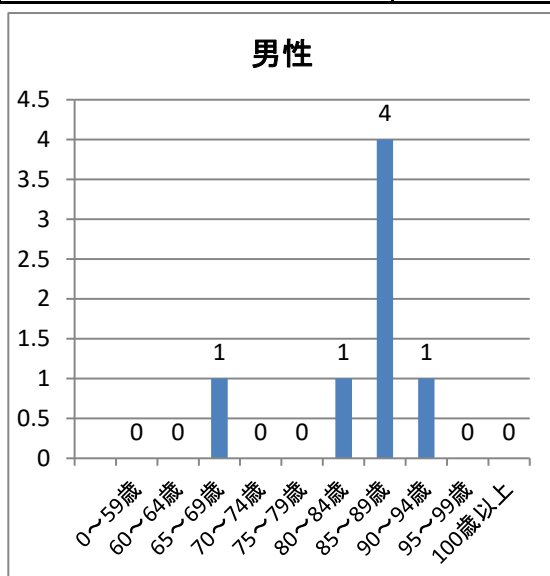
## 2. 定員及び現在人員(令和5年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
50	50	7	43



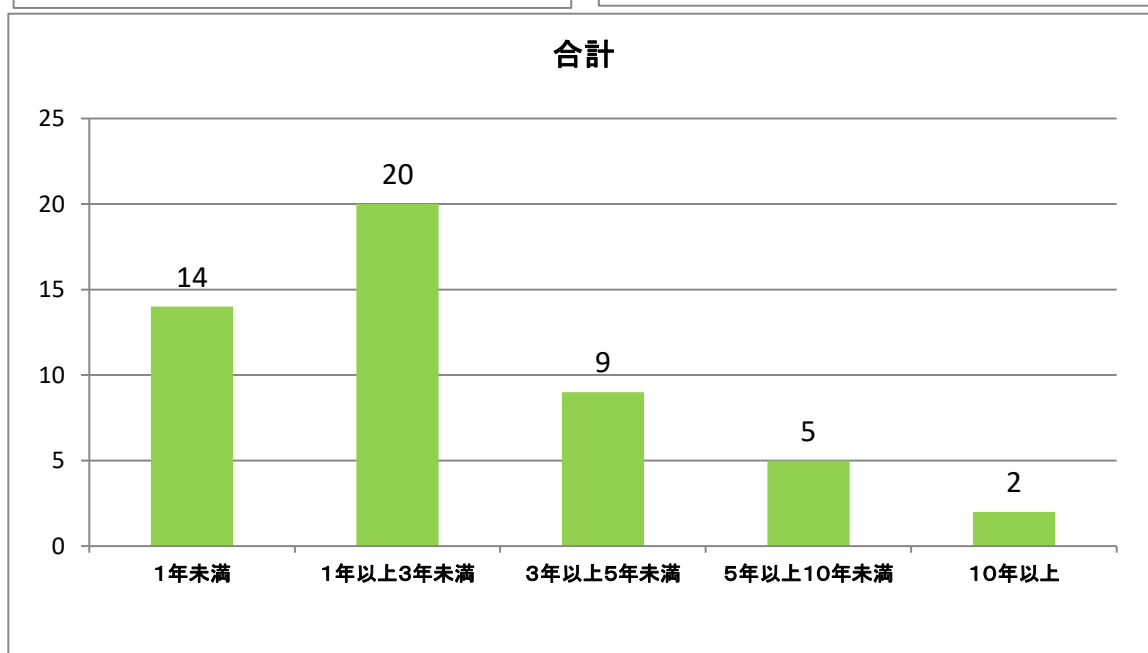
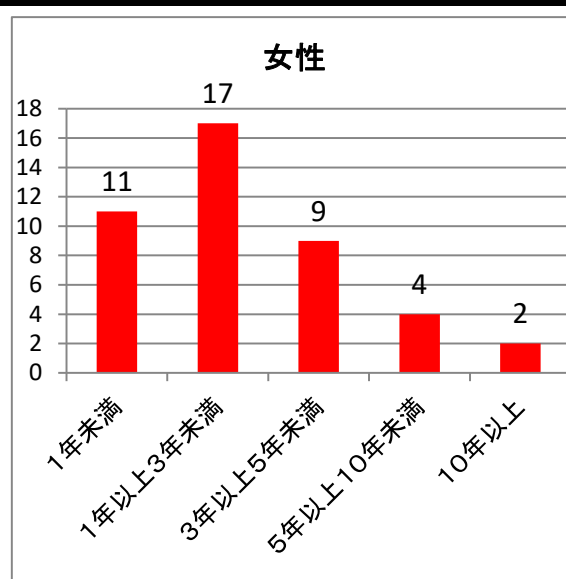
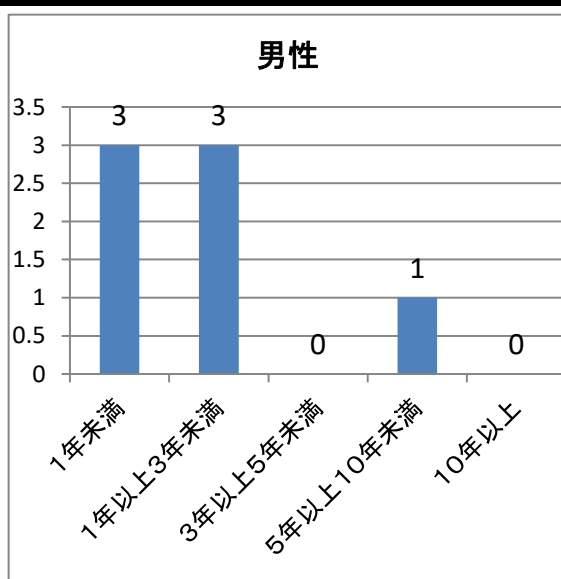
### 3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0
65～69歳	1	1	2	4
70～74歳	0	1	1	2
75～79歳	0	1	1	2
80～84歳	1	5	6	12
85～89歳	4	8	12	24
90～94歳	1	16	17	34
95～99歳	0	9	9	18
100歳以上	0	2	2	4
合計	7	43	50	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	90	68	84.3	87
女性	104	69	89.7	



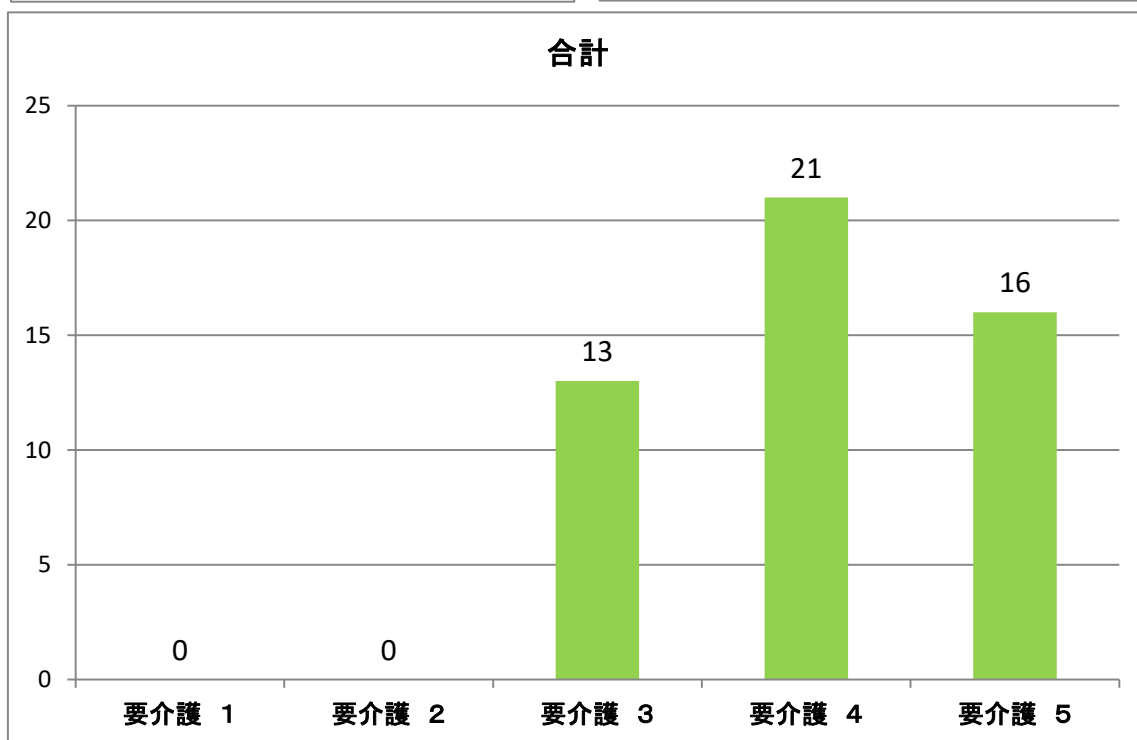
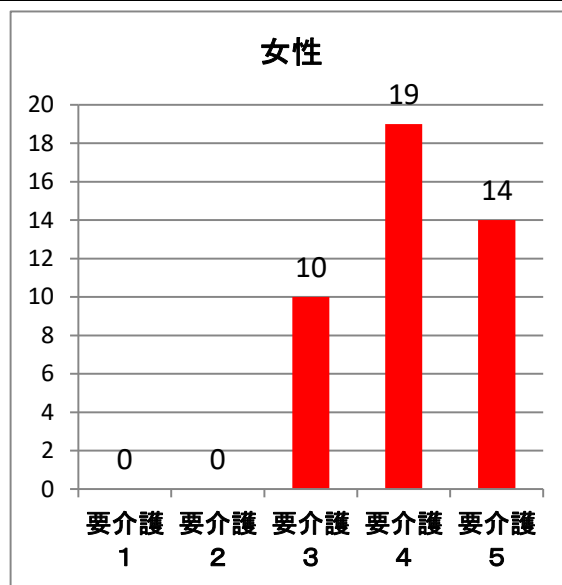
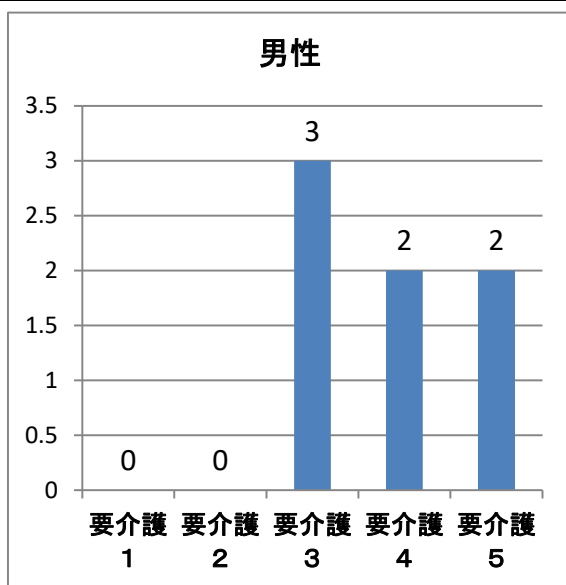
#### 4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	3	11	14	28
1年以上3年未満	3	17	20	40
3年以上5年未満	0	9	9	18
5年以上10年未満	1	4	5	10
10年以上	0	2	2	4
合計	7	43	50	100
平均入居期間	2年4ヶ月	2年9ヶ月	全体	3年4ヶ月



### 5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0
要介護 3	3	10	13	26
要介護 4	2	19	21	42
要介護 5	2	14	16	32
合計	7	43	50	100
平均介護度	1.80	4.40		



6. 面会状況(令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日迄の1年間)

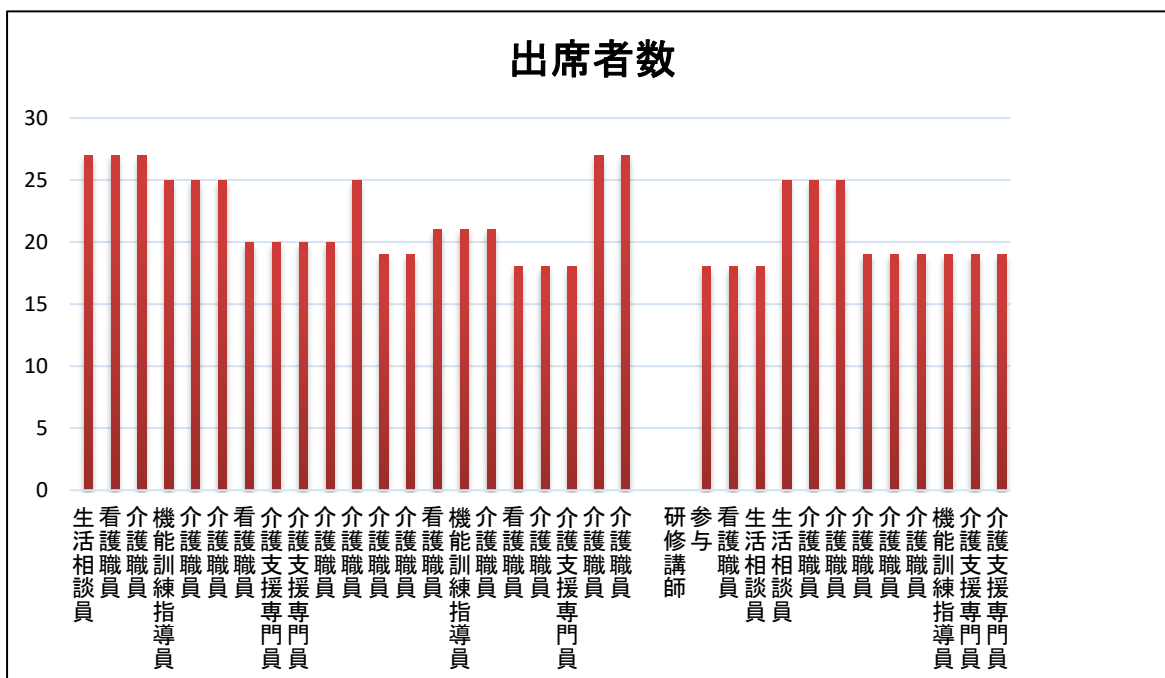
総数	43(件)
1か月平均	3.6(件)
最高(1人あたり)	6(件)
最低(1人あたり)	0(件)
年間1人平均	0.8(件)
1か月1人平均	0.07(件)

7. 研修実施状況

**【内部研修】**

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	職場におけるハラスメントとその防止策について	生活相談員	27
	正しい褥瘡ケアについて	看護職員	27
	ハルンバックの方の介助で注意すること	介護職員	27
5月	高齢者の急変時における対応について	機能訓練指導員	25
	高齢者施設での虐待の具体例と対策	介護職員	25
	体位変換・ポジショニングの基本について	介護職員	25
6月	施設における感染症発症時の対応について	看護職員	20
	感染対応事業継続計画(BCP)について	介護支援専門員	20
	法令順守について	介護支援専門員	20
	介護技術(口腔ケア)	介護職員	20
7月	事故について考える	介護職員	25
8月	身体拘束にあたる恐れのある対応とその対策について	介護職員	19
	介護技術(入浴介助、拘縮部位の開き方)	介護職員	19
9月	ガウンテクニックについて	看護職員	21
	看取りについて	機能訓練指導員	21
	介護技術(拘縮の安全な開き方とハンドロールの重要性について)	介護職員	21
10月	褥瘡予防のポジショニングについて	看護職員	18
	介護技術(座位姿勢の支援と円背姿勢のポジショニング)	介護職員	18
	ケア計画と記録の必要性について	介護支援専門員	18
11月	虐待防止について	介護職員	27
	認知症ケアについて	介護職員	27

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
1月	特殊詐欺と介護施設の防犯対策について	参与	18
	感染症対策と感染対策時のポータブルトイレの使用方法について	看護職員	18
	防災について	生活相談員	18
2月	施設における防犯について	生活相談員	25
	KYTと事故に対する大事なことについて	介護職員	25
	移乗の際に起こることについて	介護職員	25
3月	福祉用具研修	介護職員	19
	水分摂取を勧める際の声掛けや対応について	介護職員	19
	介護技術(車いすからベッドへの移乗実演)	介護職員	19
	食事介助について	機能訓練指導員	19
	三六協定について	介護支援専門員	19
	マスク着用について	介護支援専門員	19



### 【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
7月	講義	企業担当者向けセミナー	介護支援専門員
10月	講義	甲種防火管理新規講習	生活相談員
2月	講義	福祉用具・住宅改修基礎講座	介護職員
3月	講義	倫理及び法令順守、身体拘束、虐待防止	介護職員
	講義	ノーリフティングケア普及啓発セミナー	介護支援専門員



## 8. 食事

### 【栄養所要量】

区分	1人1日当たり給与栄養量	1人1日当たり荷重平均所要量
エネルギー	1561kcal	1500kcal
たんぱく質	55.3g	57.4g
脂質	36.7g	41.6g
カルシウム	846mg	616mg
鉄	8.9mg	6.2mg
レチノール当量	834 $\mu$ g	673 $\mu$ g
ビタミンB1	1.29mg	0.83mg
ビタミンB2	1.05mg	0.85mg
ビタミンC	121mg	100mg

### 【献立例】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
鶏肉の香草パン粉焼き	五目寿司	三色丼	七夕そうめん	豚とろろ丼	とうもろこしご飯
菜の花の炒め物	枝豆ご飯	魚のレモン焼き	紅鮭ご飯	あじの和風ムニエル	さわらの南蛮漬け
親子丼	ひき肉となすのカレー	あなご寿司	枝豆ゆかりご飯	豆乳ごまうどん	きしめん
うどん	さばの竜田揚げ	鶏肉のゆず焼き	うなぎ寿司	いなり寿司	親子丼
ビビンバ丼風	黄桃ケーキ	八宝菜	豚肉の山椒炒め	ざるそば	鶏肉のきのこマヨネーズ焼き
ほうれん草バナナケーキ	お茶プリン	コーヒー蒸しパン	レモンゼリー	すいかゼリー	おはぎ

10月	11月	12月	1月	2月	3月
牛丼	ココイチ特製カレー	ハヤシライス	散らし寿司	巻き寿司	金目鯛の煮付
大根ご飯	天津飯	年越しそば	梅しらすご飯	豚肉のおろしポン酢丼	炊き込みご飯
とんかつ	擬製豆腐	星のハンバーグ	七草粥	いわし磯香フライ	散らし寿司
まぐろカツ	そばろ丼	うなぎご飯	おせち	さばのおかか葱焼き	きつねそば
鶏肉のマスタード焼き	煮こみハンバーグ	かに卵あんかけ	卵とじ丼	みそラーメン	小豆ケーキ
かぼちゃプリン	さつま芋ケーキ	ショートケーキ	ぜんざい	チョコケーキ	りんごケーキ

9. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月	介護職員	桜の貼り絵	20名
	介護職員	誕生日会	13名
5月	介護職員	端午の節句	9名
	介護職員	誕生日会	10名
6月	介護職員	紫陽花ロード作り	30名
	介護職員	誕生日会	30名
7月	介護職員	七夕飾り作り・飾りつけ	20名
	介護職員	誕生日会	20名
8月	介護職員	花火大会	17名
	介護職員	誕生日会	13名
9月	介護職員	誕生日会	11名
10月	介護職員	敬老会	60名
	介護職員	秋の作品作り	11名
	介護職員	誕生日会	13名
11月	介護職員	落ち葉アート作り	7名
	介護職員	誕生日会	20名
1月	介護職員	初詣	54名
	介護職員	絵馬作り	18名
	介護職員	誕生日会	18名
2月	介護職員	節分	16名
	介護職員	誕生日会	13名
3月	介護職員	ひな祭り	7名
	介護職員	誕生日会	25名

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数

10. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和4年度		特になし



